御所市

議会だより

No. 10

2026年12月発行



令和８年９月定例会

●議案概要結果……2～3
●総務文教委員会
厚生建設委員会……4～5
●決算等特別委員会……6～7
●一般質問……8～10
●特別委員会
組合議会報告
編集後記……11
●意見交換会開催内容……12

市議会だよりについて
WEB アンケートの
ご協力をお願いします

発行 御所市議会／編集 広報広聴委員会 広報部会

令和８年御所市議会９月定例会

令和８年御所市議会９月定例会　結果

議会中継の録画をご覧いただけます

令和８年９月定例会を、９月７日から９月２４日の日程で開催しました。

一般質問に続き、総務文教委員会と厚生建設委員会を開催し、付託議案を審議しました。

決算等特別委員会も開かれ、令和７年度の決算について審議しました。

議案番号	議　案　名	概　　要	議決結果
報第13号	令和7年度決算に基づく御所市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	【健全化判断比率】 ・実質赤字比率　一般会計等において実質赤字は生じていない ・連結実質赤字比率　すべての会計を合計した結果、実質赤字は生じていない ・実質公債費比率　11.2 ・将来負担比率　57.9 【資金不足比率】 ・下水道事業会計　下水道事業会計において資金不足は生じていない	報告のみ
報第14号	令和8年度御所市一般会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、65歳以上の市民に1人3,000円のシルバーくらし応援券を交付する。 ［国庫］47,962,000円	
報第15号	放棄した債権の報告について	①［介護報酬返還金］　548,855円 相手方が破産手続きを開始し、徴収の見込みがないため。 ②［御所市コミュニティバス損害費用賠償金］5,546,000円 債務者が死亡し、相続放棄によって相続人が存在しないことから、徴収の見込みがないため。	
報第16号	議決により指定した専決処分の報告について	［公用車事故の損害賠償額］　137,500円 ごみ収集の業務中、個人宅のブロック塀に接触し、破損させたもの。	
議第37号	御所市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	法令の改正に伴う条例改正。	原案可決
議第38号	御所市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	法令の改正に伴う条例改正。	
議第39号	御所市自転車等駐車場条例の一部改正について	近鉄葛駅前自転車等駐車場整備工事が完成し、駐車場の名称及び位置を追加する。 厚生建設委員会を参照してください。	原案可決
議第40号	令和8年度御所市一般会計補正予算（第3号）について	・市議会委員会のネット中継設備　［一般］2,726,000円 ・市役所庁舎女子和式トイレの洋式化　［地方債、一般］4,092,000円 ・介護施設整備補助　［国庫］16,600,000円 など。補正予算特別委員会を参照してください。	
議第41号	令和8年度御所市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	現員現給による人件費の補正。	
議第42号	令和8年度御所市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	現員現給による人件費の補正や前年度繰越金や基金積立など。	
議第43号	令和8年度御所市後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）について	現員現給による人件費の補正。	

議案番号	議　案　名	概　　要	議決結果
議第44号	令和8年度御所市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）について	アクアセンター建て替え用地の購入費用が確定したための減額。　[事業費] △5,321,000円	
議第45号	令和8年度御所市下水道事業会計補正予算（第1号）について	現員現給による人件費の補正や繰り上げ償還金に対する補填など。	
議第46号	防災行政無線（同報系）施設整備工事請負契約の変更について	安全対策に係る追加工事や防災行政無線システムの機能性向上に係る仕様変更及び機材追加、工期延長に伴う現場管理費等の増額措置。 [増額]　39,736,400円 [工事総額]　941,736,400円 [請負業者]　西菱電気株式会社　大阪支社 厚生建設委員会を参照してください。	
議第47号	土地の取得について	アクアセンター建て替え用地を葛城地区清掃事務組合から購入する。 [住所]　御所市大字僧堂294番地　ほか80筆 [面積]　22212.52㎡ [取得価格]　90,629,866円 総務文教委員会を参照してください。	原案可決
議第48号	動産の買入れについて	職員用の業務用端末機器等の買い替え。奈良県地域デジタル化推進協議会による一般競争入札を経ての、随意契約。 [契約金額]　44,312,400円（税込） [契約先]　株式会社大崎コンピューターエンヂニアリング　大阪支店 総務文教委員会を参照してください。	
議第49号	御所市特別功労者表彰について	西邉豊彦（にしべとよひこ）氏は、御所市に３億円の寄付をされましたので特別功労者として表彰する。	
議第50号	御所市功労者表彰について	杉村雅史（すぎむらまさふみ）氏は、新池町自治会長を長年、務められていることから功労者として表彰する。（H25～）	
議第51号	御所市公平委員会委員の選任について	田仲敦三（たなかあつみ）氏の選任。 [任期] 令和8年12月20日～令和12年12月19日	原案同意
議第52号	御所市固定資産評価審査委員会委員の選任について	栗山恒（くりやまわたる）氏の選任。 [任期] 令和8年12月1日～令和11年11月30日	
議第53号	御所市教育委員会委員の任命について	北村恭康（きたむらきょうやす）氏の任命。 [任期] 令和8年12月22日～令和12年12月21日	
諮第1号	御所市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	馬場由美子（ばばゆみこ）氏の推薦。 [任期] 令和9年1月1日～令和11年12月31日	同意
認第1号	令和7年度御所市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別委員会を参照してください。	原案認定
認第2号	令和7年度御所市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認第3号	令和7年度御所市学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について		
認第4号	令和7年度御所市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認第5号	令和7年度御所市後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
認第6号	令和7年度御所市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について		

総務文教委員会

9月7日の本会議において当委員会に付託されました議第47号「土地の取得について」、議第48号「動産の買入れについて」の2議案を、9月11日、総務文教委員会は委員6名中5名の出席のもと、市長はじめ理事者の出席を求め、慎重に審査を行いました。委員会における主な質疑の趣旨は、次のとおりです。

主な質疑

議第47号「土地の取得について」

委員　この事業はアクアセンターの20年間稼働延長に対しての地元貢献、地域活性化の一つであるが、奈良県葛城地区清掃事務組合から本市へ拠出される「地域活性化施設整備協力金」との関係で、どの様な経緯と合意で行われることになったのか。

市長　本来は組合が行うべき地元還元事業であるが、地元からの依頼もあり、御所市が行い、組合が協力することになっている。法的に問題が生じないよう、御所市と組合との間で費用負担に関する合意書を締結している。

委員　組合側の予算においては、この協力金はどの様な位置づけか。

課長　「負担金」に該当する。

委員　「負担金」であれば、まず地域活性化計画を策定し、事業費が確定した後で金額を決めるべきではないか。

市長　計画策定後が適切であるが、地元との約束期限を最優先する必要があるため、先行して土地取得の手続きを進めている。

委員　地域活性化計画の策定はどの程度進捗しているか、また今後事業費の確定に伴って協力金が増額となる可能性はあるのか？



主幹　計画については令和9年の3月議会で示したい。

副市長　協力金については、8月の組合議会で可決された金額を限度と想定しており、現時点では増額の見通しはない。

委員　組合から市が土地を購入することに対し組合が協力金を負担するという形ではなく、組合から減額譲渡するという方法は取られなかったのか。

市長　構成自治体間の協議で、一定の負担金や協力金で調整する方向で引き継がれていた。

委員　後々の疑義が生じないように、積算根拠や金額を明確にし、議会に報告することを求める。

市長　適切に処理を進め、成果物や協定等のタイミングで議会・組合に報告する。

委員　現在、施設や土地の管理はシルバー人材センターに委託されているが、継続はされるのか。

市長　シルバー人材センター、地元自治会、民間事業者など幅広く検討する。

議第47号、及び議第48号は、ともに討論はなく全会一致で原案通り可決されました。

（生川 真也）

事業用地位置図（現：アクアセンター建替え用地）



厚生建設委員会

委員会付託されました議第39号「御所市自転車等駐車場条例の一部改正について」及び議第46号「防災行政無線（同報系）施設整備工事請負契約の変更について」の2議案について、審査を行うため、9月11日に厚生建設委員会を開催しました。



主な質疑

議第39号「御所市自転車等駐車場条例の一部改正について」

審査に先立ち、委員全員で現地視察を行い、担当部局から説明を受けました。

委員　駐輪台数は何台ですか？

課長　バイクの箇所を含め、23台となっております。

委員　プライバシーの配慮をふまえ、防犯カメラの設置はされますでしょうか？

課長　北東にある電気設備に設置予定で、現在、見積もりを行なっています。

委員　今の照明が暗いとなった場合、増設について対応していただけますか？

部長　近隣住民への配慮も十分必要であると考えますので、利用者の声を聞きながら、必要であれば検討してまいりたい。

議第46号「防災行政無線（同報系）施設整備工事請負契約の変更について」

審査に先立ち、委員全員で現地視察を行い、担当部局から説明を受けました。

委員　屋外スピーカーだけに頼らず、アプリなどを併用して情報を得る必要があります。聞こえにくい地域で設備の増設が必要となった場合、どのように対応されますか？

市長　緊急防災・減災事業債やほか有利な財源を探しながら、予算の計上というものは考えてまいりたい。



委員　現在、運用しているトランシーバーについては今後どのようにされますか？

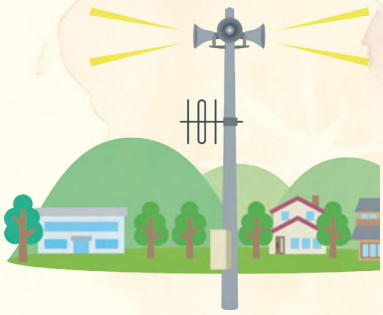
課長　10月1日以降に回収する旨を、自治会連合会総会の折にお伝えしています。

委員　期限があるので緊急的に措置をしないといけないのも分かるが、工事完了後に契約変更の議決を求めることについて、議会の議決を要する案件は、本来、事前に議決を経た上で工事を進めるべきであり、特に大幅な増額や内容変更が生じる場合には、事前に議会への説明及び議決を求めるべきではないでしょうか？

副市長　出来高の精算等に伴う変更については、やむを得ず工事完了後の議決となる場合もあるものの、大幅な内容変更が見込まれる場合には、事前に議会の議決を得た上で変更を行い、必要に応じて最終的な精算変更と合わせた二段階での変更契約も念頭に置き、今後、安易に事後議決とならないよう適切に対応する形で進めていきたいと考えます。

議第39号、及び議第46号は、ともに討論はなく全会一致で原案通り可決されました。

（丸山誠）



決算等特別委員会

９月７日の本会議において、決算等特別委員会に付託された「認第１号 令和７年度御所市一般会計歳入歳出決算」ほか５件の認定及び「議第４０号 令和８年度御所市一般会計補正予算（第３号）」ほか５件について、３日間にわたり審査を行いました。
委員は、齋藤聡委員長、新川理江子副委員長、奥聡委員、丸山誠委員、中谷文雄委員、生川真也委員、南満委員、杉本延博委員の８名です。主な質疑は次のとおりです。



決算関連質疑

委員　監査委員の決算審査では、経済性・効率性・有効性の「３Ｅ」をどのように取り入れているのか。

監査委員　従来は規則等に沿った適正な事務処理の確認が中心でしたが、今後は限られた予算をいかに有効に活用するかという視点から監査する必要があると考えています。

委員　コミュニティバス広告料を翌年度で調整した処理は、会計年度独立の原則から逸脱したものではないか。

市長　御指摘のとおり重大な事態と認識しています。今後、会計年度独立の原則を遵守できるよう、庁内職員一同で適正な事務処理に努めます。

副市長　監査で指摘された事項を共有し、同じ誤りを繰り返さないよう、会計事務に関する研修を毎年徹底していきたいと考えています。

委員　住宅新築資金等貸付金の債権放棄と不納欠損処理は、どのような状況だったのか。

課長　本来は債権放棄後に不納欠損処理を行うべきところ、不納欠損処理を先に行い、債権放棄の手続が後となりました。今後は適切に事務手続を行ってまいります。

委員　主要施策の成果報告書に、事業目的や目標値、実績、成果を示し、決算審査で事業効果を判断できる内容とすべきではないか。

市長　事業を進める中でＰＤＣＡサイクルを回し、成果をどのようにチェックや改善につなげているのか、見える化を意識しながら、成果報告書への記載方法を今後十分に検討してまいります。

委員　西邉豊彦（にしべとよひこ）氏からの３億円の寄附を、今後どのように活用するのか。

市長　寄附者の意向である学校教育や住民福祉への活用を基本とします。一括して活用する方法だけでなく、基金に積み立てて運用益を活用し、継続的な事業につなげる方法も含め、来年度に向けて制度設計を進めています。

委員　市民課窓口業務の派遣委託について、効果と費用面をどのように検証しているのか。

課長　派遣職員が窓口業務を担うことで、市民対応の安定化につながっ

ています。

部長 今後は職員や会計年度任用職員との費用、人員配置、業務内容などを総合的に勘案し、全庁的に最適な体制を検討していきます。

委員 **公的病院等運営支援補助金について、補助による地域医療への効果をどのように検証していくのか。**

市長 本市に不足する医療機能の充実を病院側に求めています。救急受入れ等の実績も踏まえ、地域への貢献を何らかの指標で分かるように示せないか検討していきます。



委員 **地域商社機能構築調査の結果を、今後どのような農業振興につなげるのか。**

課長 現状では地域商社を直ちに構築することは難しいと判断しています。公費を投入し続けるのではなく、生産・販売による収益を活用して自走できる仕組みを検討し、令和8年度以降、新たな組織の設立に向けて検討を進めてまいります。

委員 **御所消防署が分署化された場合、消防・救急体制や市民サービスへの影響はないのか。**

課長 分署化後も市民サービスが低下しないよう、奈良県広域消防組合に申し入れています。管理職は減りますが、出動要員などの機能が低下しないよう必要な体制確保を求めていきます。

委員 **部活動の地域展開は、令和7年度の実証事業から本格実施に向けてどこまで進んだのか。**

課長 令和8年度は教員17名、地域指導者30名の計47名が登録し、生徒166名、全中学生の約49％が参加しています。一方、柔道やソフトテニスなど、指導者が確保できず地域クラブへ移行できていない種目もあり、引き続き指導者確保に取り組みます。



委員 **学校給食の食物アレルギー対応に導入した献立システムには、どのような効果があるのか。**

事務局長 従来は複数の資料を学校と保護者が確認していましたが、システム導入により献立表で確認できるようになり、手作業によるヒューマンエラーのリスクが大きく改善されています。



補正予算関連質疑

委員 **２０４３年にアクアセンターが操業を終了した後、御所市の汚水処理をどうするのか。**

市長 下水道未整備地域の処理について、現在、構成市町間で検討を進めており、今後、御所市としての基本的な考え方をまとめ、議会にも示した上で、２０４３年以降の処理の在り方について協議していきます。

委員 **委員会のインターネット配信は、どのような方法で行うのか。**

局長 本会議場と同様に生中継と録画配信を行う予定です。議員名等の字幕表示については、費用や運用面から現時点では難しく、運用開始後の検討課題とします。

委員 **アクアセンター建替用地を活用した地域活性化事業は誰が主体となり、追加の財源は見込めるのか。**

市長 地元との協定に基づき、地域活性化事業を継続していくため御所市が主体となって進めます。現時点で組合からの追加の歳入は予定しておらず、追加を求める場合は構成市町間や組合議会での協議が必要となります。２０２８年度の地元との約束に向けて事業を進めていきます。

委員 **アクアセンター建替用地の取得額と、その財源はどのようになっているのか。**

主幹 81筆、２万２，２１２．５２平方メートルを９，０６２万９，８６６円で取得します。

課長 財源は全額を公共用地先行取得事業債で賄います。将来、地域活性化事業を実施する際に一般会計に用地を買い戻し、その費用に過疎債を活用して先行取得事業債を一括償還することを想定しています。

（齋藤 聡）

アプリで知る避難情報
市役所と地域、市民が一体となって取り組む防災を

一般質問



片上 公美

片上 **防災行政無線システムの試験放送で「サイレンしか聞こえない」「内容が聞き取りにくい」との声がありました。システムの概要と活用方法、今後の周知について説明してください。また、屋外スピーカーの設置場所により聞こえにくい地域がありますが、対応を検討していただけますか。**

部長 防災行政無線システムは、屋外スピーカーのほか、防災アプリ、メールや電話・FAXによる一斉情報配信で構成され、10月1日から運用開始します。アプリでは気象警報等緊急情報のほか避難所情報、防災マップなどが取得可能です。周知は広報紙、チラシ、ホームページに加え、出前講座も計画しています。スピーカーの聞き取りにくい地域については調査し対応を検討します。

片上 **豪雨災害などの際の避難所開設など初動体制について説明してください。また、小中学校体育館の空調整備やトイレ・備蓄品、民間事業者との協定はどうなっていますか。**

部長 警報発令時に災害対策本部を設置し自主避難所を開設する体制を整えています。簡易トイレやマンホールトイレ、食料、飲料水、発電機を備蓄し、民間事業者と災害物資供給の協定を締結、新たな協定先の確保にも努めます。

局長 体育館の空調は令和9年度夏までに設置完了を目指しています。

片上 **市役所内での緊急時の訓練や市民参加の防災訓練はありますか。**

部長 年度当初の管理職会で災害対策本部体制の周知・確認を行い、市民参加の訓練は消防団や関係機関と連携し隔年で実施しています。

片上 **一般職員も含めた実地訓練の徹底をお願いします。防災無線やアプリの自治会等での周知や、体験できる防災講習会の開催も要望します。行政と地域、市民が一体となり防災に取り組めるよう積極的に働きかけてください。**

困難な問題を抱える女性への支援体制と
伴走型相談体制について

一般質問



新川理江子

新川 **3回目ですが、現状把握のため抜粋して質問させていただきます。**
1点目、初期対応はどうなっているのか。

部長 乳幼児がいる場合、18歳未満の子どもがいる場合、65歳以上の高齢者ひきこもりの場合、生活困窮の場合、配偶者、異性からの暴力等DV被害の場合、いじめ、差別等、様々な悩みがあります。複数の部署での対応が必要な場合につきましても、重層的支援が行えるよう事前に調整を行っております。

新川 **どなたが相談内容全般を把握するのでしょうかというのは、さきに答えていただいた事と重複するんですけれども、誰というのはまだ決まっていないんですよね。**

部長 情報を共有するような形で現在協議しているところでございます。

新川 **その内容によっては様々、想定されないケースもいろいろ出てくると思うんですよ。だから、各部署に案内したところにケースワーカーとかソーシャルワーカーとかいらっしゃると思うんです。その人たちの意見も聞いていただいて、一緒に相談していっていただくほうがいいのかなと思いますが、その辺はどうでしょうか。**

部長 まだここの分野については専門分野の知識も十分必要というふうに考えておりますので、必要であれば、そういう部分の協力等も要請させていただきたいと考えております。

新川 **そこで、市長へお尋ねしたいんですけれども、そもそもこの法律がつくられたのか、その立法趣旨を御所市としてはどのように認識しておられるかお答えいただければありがたいです。**

市長 この法律の立法趣旨を単に女性に対する個別の福祉サービスを提供するための法律として捉えるのではなく、困難な状況にある女性を孤立させることなく、その人自身の意思や尊厳を尊重しながら、必要な支援につなぎ、地域の中で安心して自立した生活を送ることができるよう、行政、関係機関、民間団体等が連携して支えていくための法律であると認識をしております。
今後も、福祉、保健、就労、教育など関係分野との連携を図りながら、本市においても困難な問題を抱える女性が必要な支援につながることのできる体制づくりに努めてまいりたいというように考えております。

一般質問

大型事業と将来を見据えた持続可能な財政運営



齋藤　聡

齋藤 **近鉄・ＪＲ御所駅周辺整備では、事業実施を目前に大きな見直しとなった。今後、新しい学校づくりなど大型事業が続く中、この経験をどのように生かしていくのか。**

市長 今後は、事業部局と財政部局がより緊密に情報を共有し、事業の進捗に応じて財政リスクを把握していきます。また、財政指標の悪化や想定以上の資材高騰などが生じた場合には、速やかに事業を精査・見直す仕組みを検討します。

齋藤 **人口減少、物価高、金利上昇などは同時に起こる可能性がある。一定の条件を置いた場合に、市財政がどこまで耐えられるかを確認する「財政ストレステスト」が必要ではないか。**

部長 複合的なリスクを視野に入れた検証は重要ですが、将来の金利や物価などを正確に見通すことは難しく、複数の仮定を組み合わせた試算には課題があります。今後も社会経済情勢の変化を速やかに財政見通しへ反映し、健全な財政運営に努めます。

齋藤 **大型事業は、基本計画や基本設計など重要な節目ごとに、総事業費、一般財源、地方債、維持管理費などを改めて確認し、次の段階へ進むのか、規模や時期を見直すのかを判断する仕組みが必要である。また、計画変更が確実になってからではなく、リスクの兆候が現れた段階から議会・市民と情報を共有すべきではないか。**

市長 事業の進捗だけでなく、その背景にある財政リスクや懸念材料についても適時共有することは重要です。市民・議会との双方向のコミュニケーションを意識し、丁寧な説明に努めます。

齋藤 **駅周辺整備の経験を一つの教訓で終わらせず、財政検証や情報共有の仕組みとして、現在策定中の行財政改革大綱などに反映し、必要な事業の着実な実現と持続可能な財政の両立を求める。**

一般質問

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちの実現



田中 曜平

1. 地域公園の目的別公園の再編について

田中 **今後の公園施策では、公園ごとに役割を持たせることが重要です。子供や高齢者の健康づくり、スポーツ、障がいのある方の利用、地域交流、防災など、特色を持たせた地域公園と目的別公園の考え方で再編することについて。**

部長 目的別区分は市民に分かりやすい一方、地理的条件や校区、地域人口などの課題もあるため、利便性や管理コストを踏まえ、先進事例を研究してまいります。

田中 **今後の更新費用や維持管理費など、将来の財政負担を見据えた公園再編が必要です。また、公園の魅力向上には民間のノウハウ活用も重要です。まずは１つの公園をモデル公園に選定し、指定管理者制度の導入を検討してはどうでしょうか。**

部長 まず１つの公園をモデル公園として導入効果を検証することは、有効な手法と考えます。今後、規模や立地、利用者ニーズを踏まえ、民間活力の導入効果が期待できる公園の選定や、指定管理者制度の導入可能性について、調査研究を進めてまいりたいと考えます。

2. 障害のある方が一人になっても安心して暮らせる地域づくり

田中 **障がいのある方を支える親御さんが、病気や事故で入院、突然支援できなくなった場合、どのような緊急対応を行っているのか、また、相談支援専門員、福祉施設、行政などの役割についてお聞かせ下さい。**

部長 相談支援専門員、障がい福祉サービス事業所、行政が連携して本人の状況を確認し必要なサービスにつなげます。

田中 **緊急時に備え本人や家族の同意のもと、連絡先や利用施設、服薬情報、障がい特性などを事前に登録しておく「緊急時支援登録制度」を提案いたします。本市に同様の制度があるのかまた、ない場合今後導入する考えはあるのでしょうか。**

部長 本市には現在、緊急時支援登録制度はありませんが今後、提案された制度も含め先進自治体の事例の研究を進めてまいりたいと考えております。

自治会館の水道料金、さらなる負担軽減へ！「1業者1業種」の見直しで、入札参加の機会拡大！

一般質問



丸山　誠

1. 自治会館等の公共的施設に対する水道料金の減免制度

丸山　自治会館や集会所は、地域交流だけでなく、防災・防犯活動など地域を支える公共性の高い施設です。現在、2か月の使用水量が14立方メートル以下の場合は市が水道料金を負担していますが、14立方メートルを超えると全額が自治会負担となります。自治会活動を支援するため、制度を見直すべきではないでしょうか。

市長　自治会の負担軽減を図る観点から、14立方メートルを超えた場合でも、14立方メートル分を減免する方向で検討を進めています。

丸山　自治会運営は年々厳しくなっています。いつくらいを目処に実行していただけますでしょうか？

部長　関係機関や自治会との調整、要綱の整備などを進め、来年度の実施に向けて取り組みます。

2. 公共工事における適正な契約について

丸山　資材価格や労務費の上昇、人手不足、週休2日制など、建設業を取り巻く環境は大きく変化しています。地域の建設事業者は、平時のインフラ整備だけでなく、災害時の応急復旧など、市民生活を支える重要な存在です。適正な価格や工期を確保できる公共工事の契約制度が必要ではないでしょうか。

また、御所市では入札参加資格を「1業者1業種」に限定していますが、県内12市では御所市のみとなっています。例えば解体工事では、市内の登録業者がゼロとなっており、土木一式や建築一式として発注している現状があります。複数業種への登録を可能とするなど、現在の制度を見直してはどうでしょうか。

副市長　1業者1業種については、過去の経緯から受注機会の均等化や地元企業育成などを目的としてきました。一方、現在の状況ではデメリットも考えられることから、今回の質問を機会に、複数業種への登録も含め調査・研究を進めていきます。

市長　地域の建設業者は、社会インフラを支え、災害時には市民の生命と暮らしを守る、地域に欠かすことのできない存在です。適正な価格と工期を確保し、持続可能な事業環境を整えることが重要だと考えています。

現在進めている電子入札などの入札制度改革の一環として、「1業者1業種」の在り方についても、専門業者や業界団体との意見交換を行いながら検討していきます。

「御所まち」の重伝建選定は、現在どこまで進んでいますか？

一般質問



川本　雅樹

川本　御所まちの今後の展開について。令和6年3月、「御所市伝統的建造物群保存地区保存条例」（以下、保存条例と略す）が成立しました。議会も全会一致で承認しました。その後、条例に基づく審議会の設置は、どこまで進んでいますか。

局長　保存条例第12条に定める保存審議会の規定は、条例公布の日から施行しており、保存審議会は、元奈良女子大学の藤田教授を中心に6名の大学教員で構成し、令和6年10月から3回の審議会を開催しています。

川本　審議会には令和6年10月に決められた規則がありますが、そこには会長及び副会長を置くと定められています。会長の藤田教授は、いま奈良におられますか。また、副会長はどなたですか。

局長　今は、この大学にはおられません。副会長は決めていません。

川本　また、条例第12条には「審議会は委員15人以内をもって組織する」とありますが、委員は6名と言われました。副会長が決まっていません。会長も今奈良におられない。これ、審議会とは言えません。さらに、前回の質問で、御所まちに住民の方の合意を進めるためのまちづくり協議会がありますと。前の部長が言われたけれども、それは、この重伝建に伴うまちづくり協議会じゃないでしょう。市長、こんな状況ちょっとひどいですよ。

市長　実質的な審議会が機能していないというご指摘については、率直に受け止め、反省すべきと思っております。

川本　令和5年9月の一般質問で「重伝建選定を実現するための庁内横断的な組織を立ち上げ、都市計画や法制、税制などの職員が参加し、重伝建選定までの具体的なロードマップを早急に作成する」と答えておられます。今、ロードマップできていますか。

局長　できておりません。

川本　審議会もこれから、まちづくり協議会もこれから、ロードマップもこれからと。一方で、担当されていた職員が、2人から1人に減っています。重伝建をどうお考えなのか。

市長　ロードマップの作成ができていない点は、率直におわびします。ただ、令和7年度から住民組織を形成すべく、職員が地域に入って対象物件の所有者に接触しましたが、形成には至っていない状況です。

川本　御所市にとって、重伝建選定は単に古い町を保存するためではなくて、全国的に価値あるものとして国が認めるブランドです。補助金も手厚くつく。住んでいる人にとって税制上の優遇もある。重伝建選定に向けた5か年計画やプロジェクトチームをつくってはどうですか。

市長　今後、適切な組織配置を検討し、庁内議論を加速させていくことをお約束します。

※その他、「中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定、令和8年度のクビアカツヤカミキリ対策について質問しました。

特別委員会



第2回地域公共交通に関する特別委員会

９月１８日、市長はじめ理事者の出席のもと、第２回地域公共交通に関する特別委員会を開催しました。

委員会では、市コミュニティバスおよびデマンドタクシーのこれまでの経過について理事者側から説明を受け、委員からは、利用者状況やアンケート内容に関することなどの質疑がありました。

また、コミュニティバスの通学利用等あらゆる送迎への利用の可能性や、今後の抜本的な制度の見直し時期について理事者に対し質問しました。

これら質疑にもとづき同委員会では、デマンドタクシー予約システムの柔軟な運用やバス停の増設など、利用者の実態や要望に応じた細やかな改善措置の継続実施についてや、今後、現行体制の政策効果を時間をかけて検証し、他市の先進事例や官民連携の研究を通じ、適切で必要な制度の見直しを行うことなどを議論いたしました。

（生川 真也）

組合議会報告



令和8年第2回葛城地区清掃事務組合議会報告

8月12日に、アクアセンター 2階議場にて、第2回葛城地区清掃事務組合議会が開催されました。会議概要においては、報告案件として１件、令和7年度の分担金の精算による補正があり、議案として財産の処分とそれに係る補正予算の２件、令和7年度の決算認定、監査委員の選出がありました。管理者の提出案件は、すべて全会一致で可決・認定・同意されました。（南 満）



令和8年第2回やまと広域環境衛生事務組合議会報告

10月20日に、やまとクリーンパーク3階見学者説明室にて、令和8年やまと広域環境衛生事務組合議会第2回定例会が開催されました。会議概要においては、議案として、やまと広域環境衛生事務組合報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正及び、令和7年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計歳入歳出決算認定についてが上程され、すべての案件が全会一致にて可決・認定されました。（南 満）



令和8年奈良県広域消防組合議会第1回臨時会報告

7月17日に奈良県広域消防組合本部（橿原消防署）において、令和8年奈良県広域消防組合議会第1回臨時会が開催されました。まず議長選挙が行われ、大和郡山市の福田浩実（ふくだひろみ）議長、三郷町の伊藤勇二（いとうゆうじ）副議長が選出されました。

報告案件として事故等において発生した損害賠償費用の報告があり、補正予算でパソコン、活動服一式の購入などが挙げられ、全ての議案において全会一致で可決、承認されました。

（丸山 誠）

編集後記

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。

今年は、御所市議会として初めての「市民意見交換会」を開催し、市民の皆さまから貴重なご意見を直接お伺いする機会となりました。

今後も、市民の皆さまにとって身近で開かれた議会を目指し、いただいた声を議会活動に活かしてまいります。

本年も議会活動へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。

（丸山）

御所市議会だより
2026
12
No.10
発行 御所市議会　編集 広報広聴委員会広報部会
〒639-2298 奈良県御所市1番地の3
市民と議会をつなぐコミュニケーション機関紙
☎ 0745-62-3001（代表）
F 0745-65-2799（代表）
御所市 GOSE CITY

御所市議会 市民意見交換会

10月18日（日）、防災交流館ミモーロにて「市民意見交換会」を開催いたしました。

当日は27名の市民の皆さまにご参加いただき、各議員からの説明に対して、活発なご意見やご質問をいただきました。以下の通り、ピックアップして掲載させていただきます。

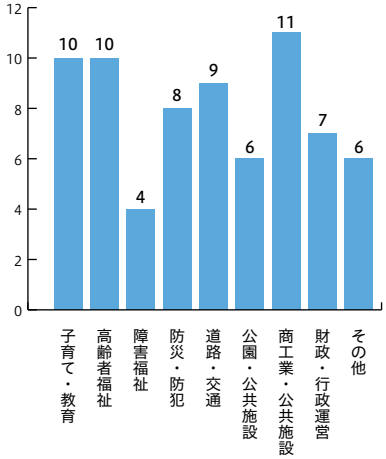


いただいた主なご意見とご質問

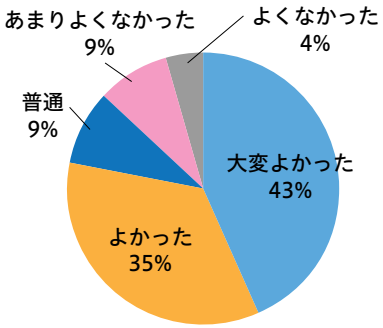
- 議会で決定した事業について、年度ごとに進捗や成果を検証し、市民に報告する仕組みが必要ではないか。
- 本会議や委員会の開催予定を、庁舎内の掲示板やSNSなどで分かりやすく周知してほしい。
- 庁舎移転が延期されたことで、新しい学校づくりの計画、特にスクールバスの乗降場所はどうなるのか。
- 学校統合後の通学の安全確保や、豪雨・河川増水時の避難対策はどうなっているのか。
- 高齢化や加入者の減少によって自治会の運営が難しくなっている。防犯灯の維持管理を含め、市の支援を充実してほしい。
- 桜並木の保全や害虫対策について、継続的な予算確保と支援をお願いしたい。
- 駅前整備事業は現在どこまで進んでいるのか。延期された事業の今後の見通しはどうなっているのか。
- 御所まちでは町家の解体や空き地が増えている。歴史的な町並みを守るため、早急に対策を講じてほしい。
- バス停が遠く利用しにくい地域がある。高齢者が利用しやすい公共交通を検討してほしい。
- 運転免許を返納した高齢者に、コミュニティバスやデマンドタクシーの利用方法をもっと周知してほしい。
- 金利上昇や財政状況の変化を踏まえ、市長と議会が相互にチェックし、持続可能で安定した財政運営を進めてほしい。
- 今回の意見交換会で出された市民の意見は、今後どのように議会で検討され、市政に反映されるのか。

アンケート結果

今後、市議会で特に取り上げてほしいテーマは何ですか？



意見交換会に参加していかがでしたか？



市民の皆さまの率直な声をお聞きすることは、私たち議員にとって大変貴重な機会です。いただいたご意見を今後の議会活動にしっかりと活かし、より身近で開かれた議会づくりに努めてまいります。次号の議会だよりでは、より詳細なものを掲載する予定です。

ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。